

ellex SLT Seminar Vol.17

first-line or second-line SLTのススメ

座長

中澤 徹先生 (東北大学)

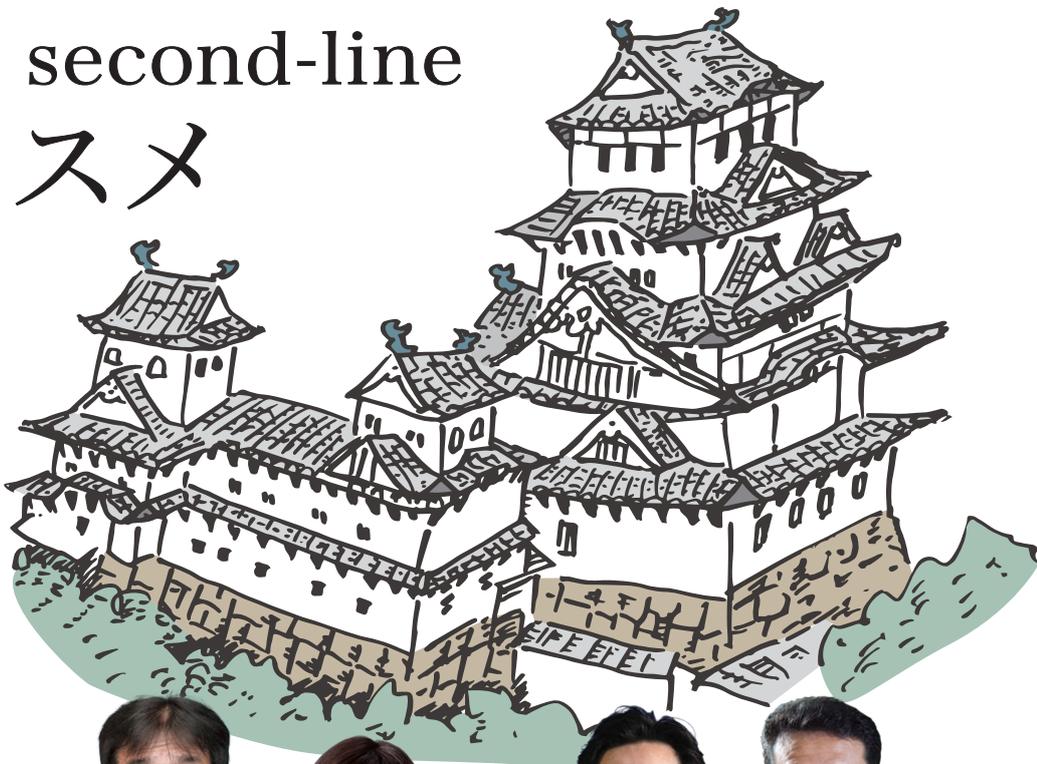
新田 耕治先生 (福井県済生会病院)

演者

新田 耕治先生 (福井県済生会病院)

尾崎 弘明先生 (福岡大学)

三木 貴子先生 (グレース眼科クリニック)



SLTは本邦でも施行件数が右肩上がりが増えてきており、緑内障治療の一つのツールとして色々な場面で活用されてきていると思われます。緑内障未治療状態でいきなりSLTを施行するfirst-line SLTや1剤の点眼でも治療強化が必要なときに施行するsecond-line SLTが日本に多いNTGで有用であることを我々の多施設前向きコホート研究にて明らかにしました(BMJ Open Ophthalmol 2024)。しかし、first-line SLTについて時間をかけて説明したけどやっぱり点眼治療を希望されたとか、隅角鏡をあまり使用していないのでどこを照射すべきか戸惑った、せっかくSLTを施行したのに明らかな眼圧下降効果が現れなかったのが困った など施行に関して色々留意すべき点がございます。

今回は、たまたまの受診で緑内障が判明することがある開業医代表としてグレース眼科クリニック 三木貴子先生、健診や人間ドックの二次精査で緑内障が確定することがある総合病院代表として福井県済生会病院 新田耕治先生、多剤併用にもかかわらず緑内障の進行をコントロールできない症例が紹介されfirst-line or second-line SLTを施行する場面が少ない大学病院代表として福岡大学 尾崎弘明先生 にそれぞれのお立場でどのようにfirst-line or second-line SLTを活用しているか留意点も含めて議論しようと思います。first-line or second-line SLTも緑内障治療の一つのツールとして活用していただけるように有益なセミナーにしたいと思います。多数の先生のご聴講をお待ちしております。



尾崎 弘明先生

三木 貴子先生

中澤 徹先生

新田 耕治先生